

県央広域本部「旗印」

県央活力発信クロスロード ～『笑顔』倍増プロジェクト～

新幹線開業や政令市誕生で拠点性の増す熊本都市圏の「活力」を取り込み、その活力を増幅させ発信することで、県全体の発展につなげます。

市町村等と連携し、「歩き」をキーワードとした地域振興の取り組みや白川激甚災害からの早期復興等地域を支える事業を着実に推進することにより、県人口の半分を占める所管区域住民の幸福度を更に増加させます。

「旗印」に沿って重点的に取り組む事項

① 拠点性を生かした地域振興の推進

- ・ フットパスや日向往還など「歩き」をキーワードとして、都市近郊に存在する美しい景観や自然体験を活用した交流拡大・経済循環を目指します。
- ・ 県土の「横軸」の整備（九州中央自動車道追加IC、国道266号大矢野バイパス、熊本港等）を促進し、更に拠点性や利便性を高めることで、活力の伝播（波及）を図ります。

② 地域を支える事業の着実な推進

- ・ 白川河川激甚災害対策等に早急に取り組み、安全安心な生活基盤の整備を図ります。
- ・ なすやトマト等の施設園芸ハウス暖房用燃料に、新エネルギー導入を図り、重油から木質ペレットへの転換を進めます。

重点取組事項推進のための主な事業

熊本地域の主な事業

- 白川河川激甚災害対策特別緊急事業
熊本広域大水害により甚大な被害が発生した白川について緊急的に河川改修を行い家屋の浸水被害の解消を図る。
- 木質バイオマス等エネルギー対策事業
木質ペレット加温機の導入に対する補助及び木質バイオマス地域協議会での効率的な使用方法の検討を支援する。



上益城地域の主な事業

- 宮崎県北地域との連携事業
九州中央自動車道の整備進捗を見据え、日向往還とウォーキングを軸に、観光物産振興事業を実施(実施団体への補助)する。
- 九州中央自動車道追加ICの早期整備
県土の横軸となる九州中央自動車道の本線供用に合わせた追加IC(3箇所(小池高山・上野・北中島))の整備を図る。

宇城地域の主な事業

- 宇城フットパス推進事業
フットパスを核として宇城地域の一体的な振興を図るため、関係機関と連携して魅力あるコース整備や優れた景観形成、特産品づくりなどを総合的に推進する。
- 三角東港及び西港の広場整備
「A列車」の運行や世界文化遺産への推薦決定により注目を集める三角東港・西港において、賑わいのある空間を創造し三角地域の振興を図る。